



2026年1月12日（月）

阪神間モダニズムの建築散歩と門徒厄神初詣 報告書

Aグループ 記録 大川明子

日時 2026年1月8日(木)

集合 10:00 JR 甲東園駅 改札口

参加者 28名

行程 甲東園駅→関学上ヶ原キャンパス→聖和キャンパス→門徒厄神→門戸厄神駅→夙川駅→山本家住宅
→カトリック夙川教会（解散）

甲東園駅からバスに乗って上ヶ原台地をゆるゆると登っていく。冬にしては陽射しが暖かくお出かけ日には最高。関学上ヶ原キャンパスは甲山を背景の中心として、スパニッシュ・スタイルで統一されたヴォーリズ設計の大学です。



聖和キャンパスに移動しました。



門徒厄神



旧山本家住宅は夙川沿いの郊外住宅地。昭和13年に建てられたものですが、ベッドルーム、テラス、応接室にはステンドグラス、大理石のマントルピースなどを備えたとてもモダンなそして工芸的にも質の高い素敵な住宅でした。お庭にはお茶室も。



カトリック夙川教会は、美しい尖塔を持つネオゴシック様式の壮麗な聖堂。祭壇奥には聖テレジア像が置かれ、堂内は数々のステンドグラスで飾られていました。私たちは二組に分かれて、名村様と谷垣様に交互に鐘楼のカリヨンと地下に置かれているピエタの説明をしていただきました。



